

ISPにおけるDoS/DDoS攻撃の 検知・対策技術

InternetWeek 2013 S2:DDoS攻撃の実態と対策
2013/11/26 (火) 13:00-15:30

NTTコミュニケーションズ株式会社 西塚要

自己紹介

■ 西塚要

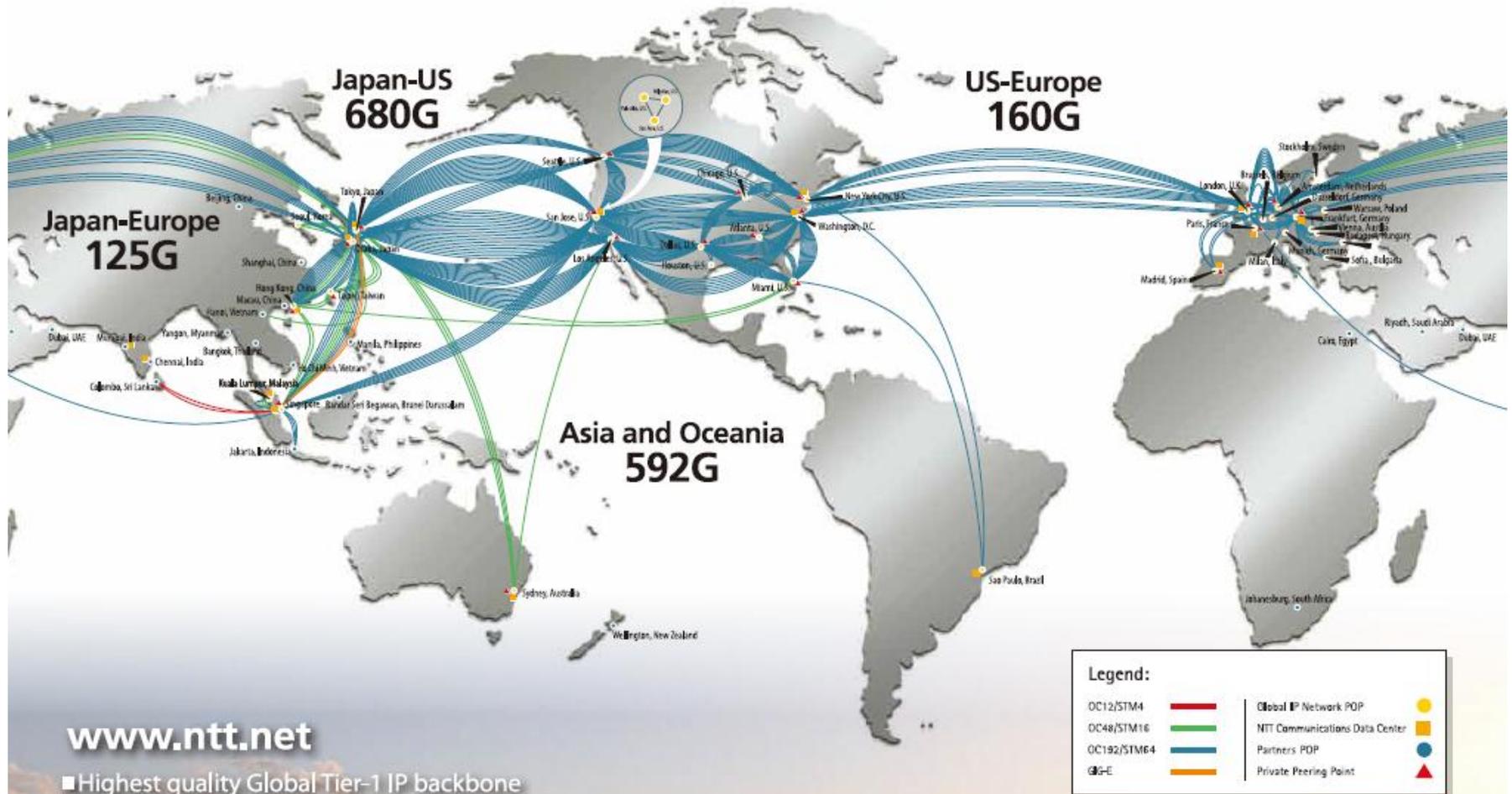


- 2006年 NTTコミュニケーションズ入社。
 - OCNアクセス系ネットワークの設計に従事した後、中・大規模ISP向けのトータル保守運用サービスを担当。
 - 現在、顧客基盤を守るためのDDoS対策ソリューションの開発に従事。
-
- 対外活動
 - JANOG28 実行委員長
 - JANOG30 会場運営委員長など

キャリアにおける Dos/DDoS対策の取り組み

アジア圏最大規模のTier1ネットワーク

NTT Communications Global IP Network



www.ntt.net

- Highest quality Global Tier-1 IP backbone
- Fully redundant network backed by industry leading SLAs
- Global IPv6/IPv4 dual stack network
- The shortest access between Europe and Asia-pacific available

as of January 2013



Global ICT Partner
Innovative. Reliable. Seamless.

5.

SAMURAI 登場



SAMURAI

高度なトラフィック監視
DDoS攻撃検出・対策を実現する
トラフィック解析ツール

SAMURAIが実現するDoS/DDoS対策

■ 攻撃の検知

- xflow技術を基にした検知
 - ✓ 特定の攻撃パターンによる検知
 - ✓ 過去のトラフィック学習による検知
- 高度な解析
 - ✓ DNS Amp 攻撃を例に。

■ 防御

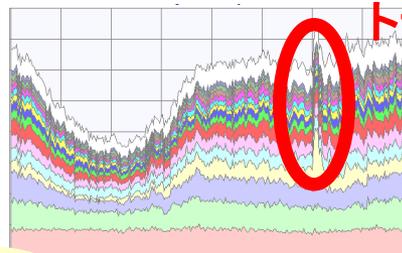
- 攻撃規模に合わせた3段階の手法
 - ✓ BH(BlackHole) ルーティング
 - ✓ フィルタリング
 - ✓ 防御装置との連携
- 新しい防御手法
 - ✓ 顧客への攻撃の実例から

攻撃の検知について

トラフィックの解析と異常検知



- アプリケーション解析/アドレス解析
- 異常検知



トラフィック異常

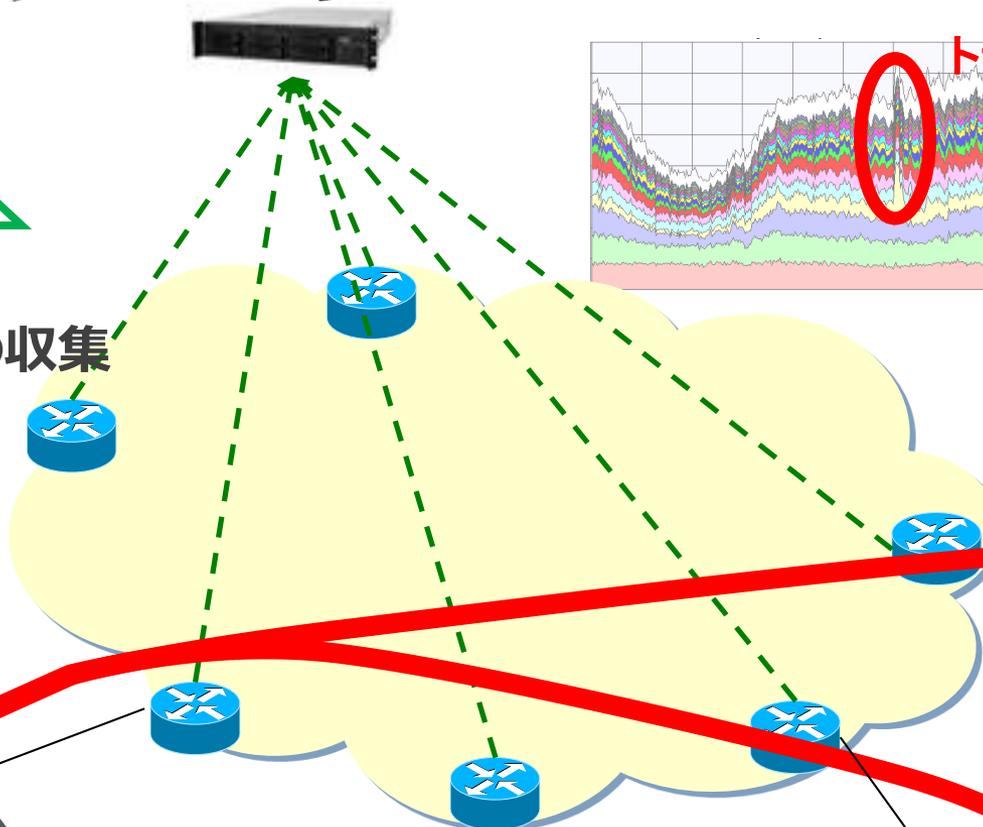


トラフィック情報の収集
(flowデータ)

お客様サーバ



お客様
ネットワーク



海外ISP

海外ISP

国内ISP



異常トラフィック検知（不正トラフィック検知）

(1) 攻撃パターンにマッチした際の攻撃検知

DDoSトラフィックパターン	概要
DNS	大量のクエリーなどによるDNSの攻撃トラフィック
ICMP	大量のPingなどによるICMPの攻撃トラフィック
IP Fragment	IPフラグメントトラフィック
IP Private	プライベートIPアドレストラフィック
Protocol 0	Protocolの指定がないトラフィック
TCP Flag 0	TCPでTCP Flag指定がないもの
TCP RST	TCP RSTトラフィック
TCP SYN	TCP SYNTトラフィック

(2) トラフィック学習による異常トラフィック検知

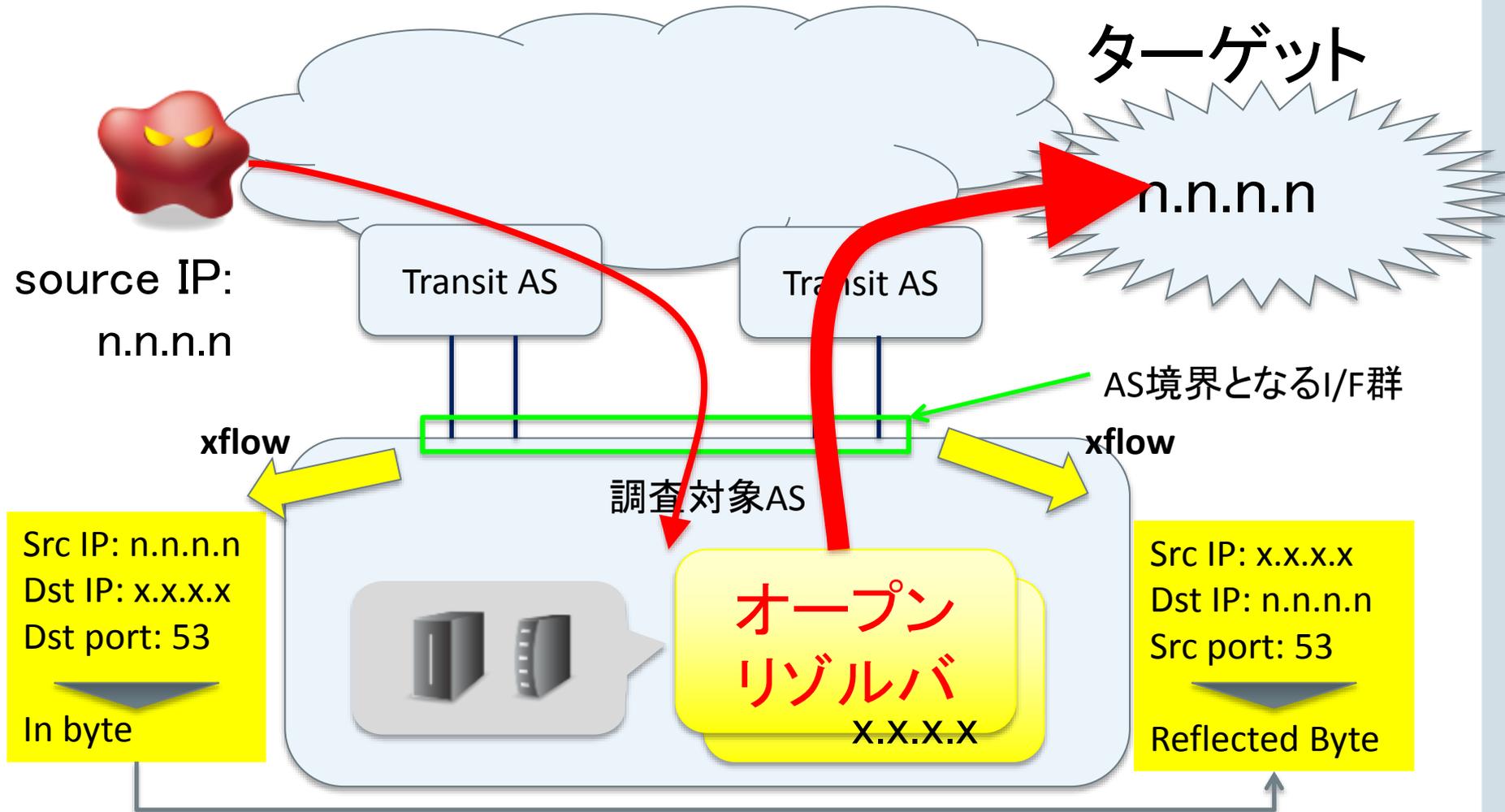
過去のトラフィックを学習し、大きく外れた値となった際に異常トラフィックとして検知します。

xflow技術による DNS Amp攻撃の解析

モチベーション

- OpenResolverProject.org などで与えられるオープンリゾルバのリストについて、「本当に攻撃に利用されているのか」を解析する。
- 上記のリストに載っていないが実はオープンリゾルバになっているIPアドレスが無いかを調べる。
- 対象: SAMURAIを導入していただいている顧客

xflowを用いた手法



比較して、倍率をAmp強度と定義

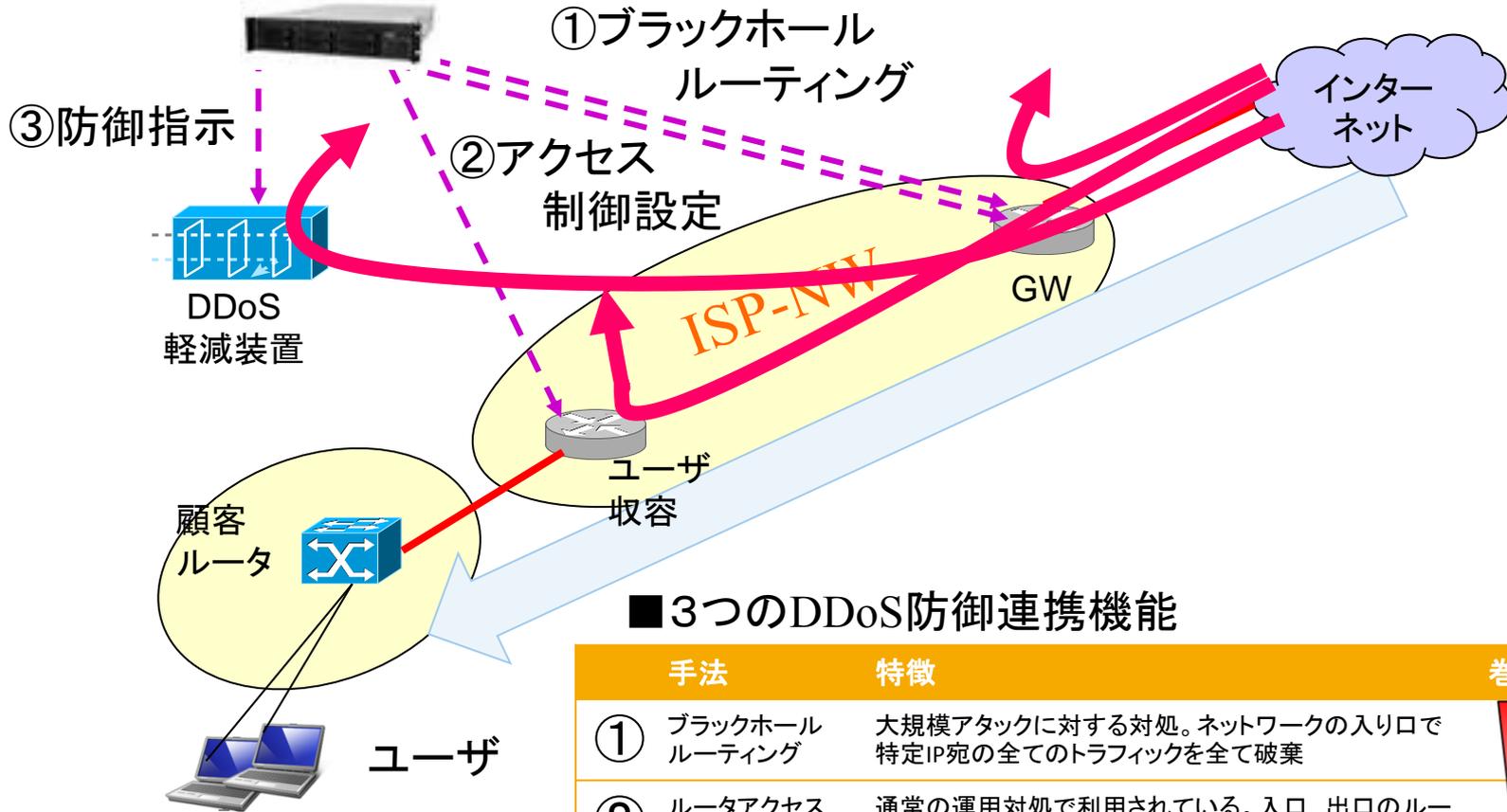
解析の詳細は当日会場にて！

xflow技術によるDNS Amp攻撃の解析結果

- xflow情報の解析により、オープンリゾルバのリストから「実際に攻撃に使われているホスト」の絞り込みが可能
 - また、同一手法により、リストが無くても、「攻撃に使われている可能性のあるホスト」の検出が可能
- ※ただし、オープンリゾルバかどうかの最終的な判断には、flow情報だけから機械的に判別するのではなく、他の情報と組み合わせることを推奨

DoS/DDoS攻撃に対する 防御について

3つのDDoS防御方式

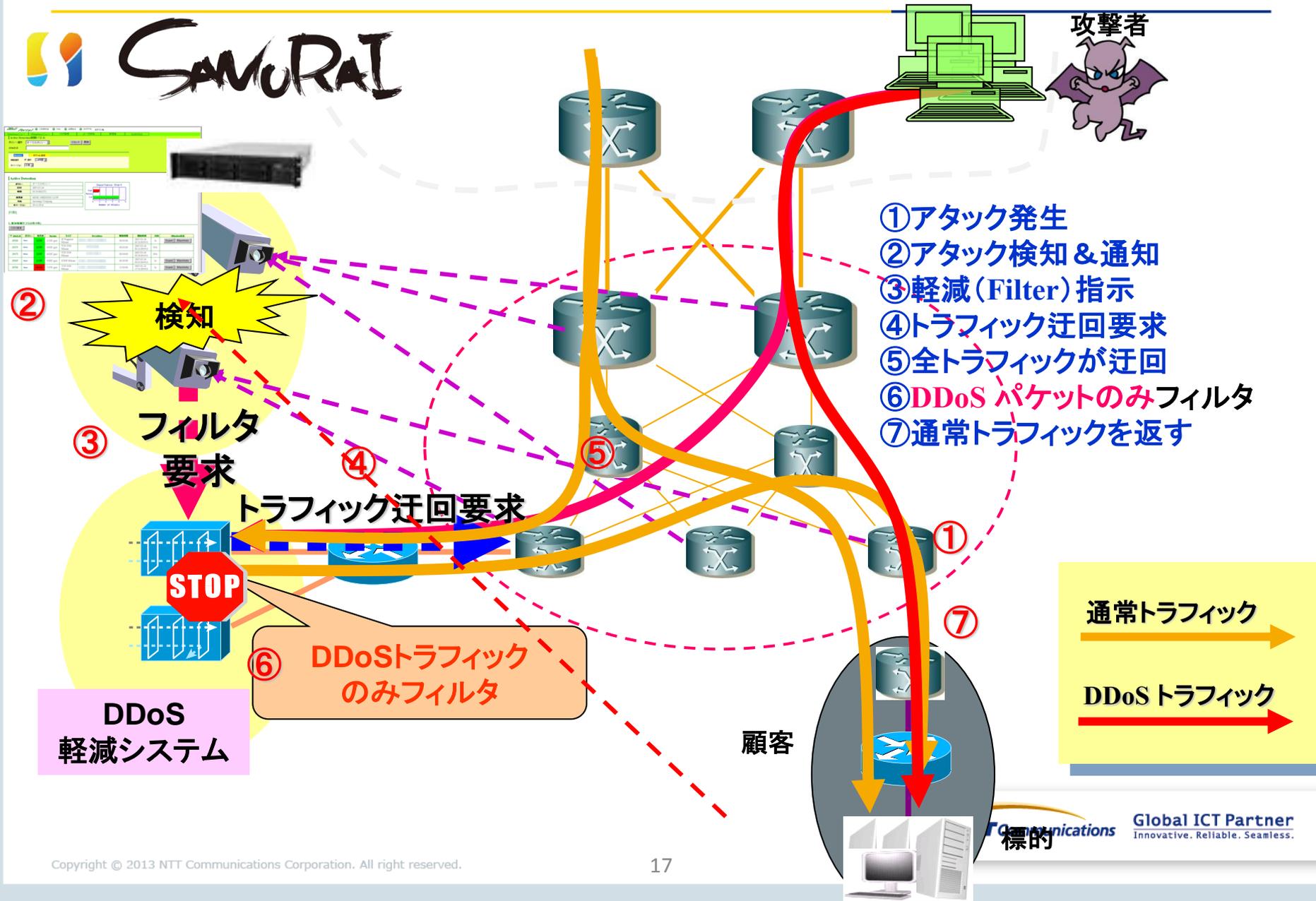


■ 3つのDDoS防御連携機能

手法	特徴	巻込	費用
① ブラックホールルーティング	大規模アタックに対する対処。ネットワークの入り口で特定IP宛の全てのトラフィックを全て破棄	高	高
② ルーターアクセス制御設定	通常の運用対処で利用されている。入口、出口のルーターでACL設定にてIP+Portでパケットを破棄	中	中
③ 防御システムへの防御指示	きめ細やかなDDoS対処が可能。DDoS軽減専用装置に指示を送り、トラフィックを吸い込み防御実施	低	低



DDoS軽減装置との連携



新しい防御手法 ～顧客への攻撃の実例から

ここから先は当日会場にて！